

事務事業名	雲南市農業担い手フォローアップ事業	所属部	農林振興部	所属課	農政課	
総合計画体系	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<産業>	所属G	担い手支援G	課長名	熱田 勇二
	施策名	(34)農業の振興	担当者名	渡部 裕一郎	電話番号	0854-40-1051 (内線) 2413
	目的:対象	市内の農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 3 0 0 1 項 目 中事業 中事業名 0 5 2 5 8 7
	目的:対象	農家・市民	意図	農業の担い手になる。		農業振興総務管理事業 農業担い手フォローアップ事業補助金

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H30 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
集落営農組織等が行う機械等の整備に係る経費に対して助成する。
補助率: 1/2 (連携組織の補助上限額50万円、他の担い手の上限額35万円)

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	R元年度実績 (R元年度に行った主な活動) 平成30～令和元年度の2年間で平成29年度末の担い手151名(人・組織)を対象に事業を開始した。 令和元年度は広域連携組織3団体と担い手77名(人・組織)の機械の導入・更新等に対して補助を行った。	R2年度計画 (R2年度に計画する主な活動) 令和2年度からは事業期間を3年間とし、新たにスマート農業加算を創設した。省力化を促し、持続性の高い農業を推進する。			
	② 活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	ア 補助金交付者数	人・組織	—	72	77	54
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	<ul style="list-style-type: none"> ・集落営農組織 ・認定農業者 ・新規就農者 ・農地所有適格法人 等 	ア 集落営農組織	組織	89	92	92	92
		イ 認定農業者数	人	76	78	76	78
		ウ					
② 意図 (対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)	
対象者に対して、経営改善に必要な機械・施設等の整備に要する費用の一部を支援することにより、農業経営の安定化と地域農業の継続的な発展をめざす。	ア 農業所得総額	億円	▲ 3.4	▲ 5.4	▲ 5.7	▲ 5.2	
	イ JALまね雲南地区本部農畜産物販売額(雲南市分)	億円	23.8	23.2	22.4	23.0	
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)
■ R31年度実績 ・補助金交付者: 77名(人・組織) ・補助金交付額: 19,418千円 (補助対象事業費: 87,028千円) ・地方債: 過疎債	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
	地方債	千円	11,000	9,100	2,900	7,000
	その他	千円				
	一般財源	千円	15,423	16,091	16,518	9,700
	事業費計 (A)	千円	26,423	25,191	19,418	16,700
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1
延べ業務時間		時間	370	350	300	
人件費計 (B)		千円	1,508	1,516	1,272	
トータルコスト(A)+(B)	千円	27,931	26,707	20,690		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
農産物価格の低迷、飼料・農薬・機械等の高騰等による農業所得の減少に加え、担い手の高齢化等が進んでいる。今後、集落維持のためにも農地を守る担い手への支援や地域全域をカバーする広域連携組織の育成が重要になってくる。	令和2年度からスマート農業加算を追加した。担い手や人材が不足している中、ドローンやリモコン除草機などの省力化農業機械の需要が高まってきている。加算により高価格な農業機械への支援を手厚くし、持続性の高い農業への移行を促す。	補助制度が拡充され助かるという意見がある一方、補助額を高めるなど農家に対する支援を積極的に行って欲しいとの声も強い。

事務事業名	雲南市農業担い手フォローアップ事業	所属部	農林振興部	所属課	農政課
-------	-------------------	-----	-------	-----	-----

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	認定農業者、新規就農者及び集落営農組織等の主要な担い手を対象に事業を行い、集落営農組織の増加等の成果も上がっており、これ以上の向上余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
D 公平性	<input type="checkbox"/> 影響無	理由	本事業により担い手の育成確保や耕作放棄地の解消等が図られており、廃止した場合、大きな影響がある。
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	理由	他に類似事業がない。
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	補助対象事業費に対する補助上限額は多い額ではなく、削減余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	補助金交付システムを作成し極力業務時間の短縮を図っており、これ以上の削減余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	市内の担い手を対象に事業実施しており、受益機会は公平である。また、受益者にも1/2以上の負担を求めており公正である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 省力化や効率化に必要な機械整備等を支援することにより、担い手の経営規模の維持向上及び所得向上をめざす事業であり、積極的に支援する必要がある。
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
<p>本事業について農作業の省力化に資する支援を高める一方、過剰投資の抑制を促すなどの事業見直しを行いつつ継続的に担い手支援を図る必要がある。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		